

公民館だより

NO 86

ひがしの

2005.3

人口 1,804 人
(男) 894 人
(女) 910 人
世帯数 547 戸
(H17.3.1 現在)



長田百合子先生講演会

東野青少年育成会議

・ どんなことをするの？

目的(規約第2条) 一青少年問題の重要性にかんがみ、東野地域住民の総意を結集し、市の施策と呼応して、地域の特性を生かしながら青少年の健全な育成を図る一とある。

東野においては過去「地域パトロール」のほか「標語募集」- たて看板、「忍者作戦」などが取り組まれた。

最近では夏休みにおける「飯沼川での川遊び、魚つり体験」、「ほたるの舞うふるさとづくり- 定蓮寺川の清掃、ホタル祭り」などが取り組まれている。

いずれも、地域の子供達と一体となって、自然環境の美化等に取り組まれており将来きっといい思い出となろう。

今回(2月27日)はその一環として教育評論家 長田百合子先生を迎え「親がかわれば子供も変わる」の演題で講演会が行われることとなった。

折角の講演会であり広く恵那市全域に呼びかけたところ約200名が熱心に受講された。

先生の自らの生い立ちを交えて、学校でない教育の現場体験をもとに2時間にも及ぶお話に聞き入りました。

帰りのアンケート----とても良かった85%、まあまあ8%

『子供は地域の宝』

東野青少年育成委員

『子供は地域の宝』どなたの言葉だったのか記憶にありませんが、とても素晴らしい言葉だと思います。明日の東野を背負って立つ子どもたちは、東野の宝だと思います。

私達が子どもだった頃（四十年前程のことになりますが）、地域の小さな神社の祭りなどがあると、祖母や母に連れられて一緒に行ったものでした。

小学校に入ると、「農繁休暇」なるものがあった、農家生まれの私もイヤイヤながら農作業を手伝っていました。今日ほど機械化されていなかったため、近所の人や親戚の人たちなど多くの大人に交じって作業を手伝っていました。作業そのものは楽しくはなかったのですが、その後の夕食時に大人達と同様に「馳走」にありつけるので、ちよつとだけ大人に近づけたような気がして嬉しかったものでした。

文明が発達し、多くの農作業が機械化されていく中で、こうした光景は消えて行き、

近所の人達皆と一緒に作業するようなことはなくなりました。それとともに、子どもたちが自分の家以外の大人と関わる機会も殆ど無くなってしまったような気がします。昔は、近所の大人が何かと子供との関わりを持っていたのに、今はそうしたことがなく、子育ては親だけでしなくてはならないかのようになっています。そして、新聞等では子育てに悩んだ母親が、我が子の命を断ってしまうような悲しい出来事が目立つような気がします。

東野の子どもたちが、そんな悲しい出来事に遭わないように、健やかに、明るく育って欲しいとの思いを胸に、私達東野青少年育成会議は地域の皆さまのご協力を得ながら、日々活動を行っています。

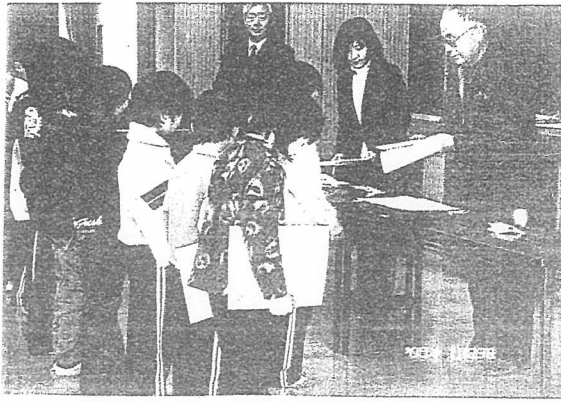
下の写真をご覧下さい。この写真は、平成十六年度の東野住民運動会での東野小学校の子どもたちの様子です。輝く笑顔が素晴らしいと思います。「この笑顔が曇ることのないように」と、願わずにはられないのは私だけでしょうか。一人ひとりの子供たちには、悲しいこと、辛い想い出があるかもしれませんが、でも彼らは、こんなに素晴らしい笑顔を見せてくれます。

東野住民運動会



東野の全ての子どもが、こんな笑顔で暮らせるよう、これからも地域の皆様のご協力を得ながら、活動が続けていきたいと思っています。今後ともご理解ご協力の程よろしくお願い致します。

この笑顔って、素晴らしい『地域の宝』だと思いませんか。



小中学生の書初め展

— 青少年育成会議主催

今年で十七回。小学校一年生「ほたる」、二年生「ふるさと」、三年生「米づくり」、四年生「山本用水」、五年生「保古の湖」、六年生「東野の自然」、中学生は四文字熟語。

力いっぱい書かれていました。公民館の展示場にも、学校帰りの子供たち、お父さん、お母さん、おじいさん、おばあさんなど連日にぎやかに観覧いただきました。

審査の結果、最も優れた作品に贈られる教育長賞には恵那東中三年の千藤和磨さんに決まりました。

学年	金賞	銀賞	銅賞	みどり賞
小学 1年	わたなべせいご	いとうゆうき はせがわまり みつおかゆき	いとうあずさ にしおももか	かとうまさき はやしもとき まつもとしょうこう ひじかたさら みおはるか
2年	伊藤 紗希	鈴木 翔太 千藤 花奈	西尾 太一 足立 恵美 西尾 美知花 長谷川 咲	小木曾圭太・西尾直人 堀江亮汰 永谷恵 伊藤京太 金子大成
3年	伊藤 来夢	金子 瞭 長谷川 奏	渡辺 滉介 伊藤 賀子 土方 優奈 渡辺 紗枝	千藤麻由・大島勇気 千藤友里絵・加藤 優弥 長谷川彩・林まい 足立 紗穂 渡辺 幹久
4年	足立 知美	松本 大雄 山田 悦弘	西尾 聡 鈴木 春菜 田口 愛子 藤井 里歩 三浦 安里沙	伊藤太一・西尾和浩 吉村美咲・森祥帆 丸山大介 足立 雅規 菊池優弥
5年	松本 真英	足立 成美 千藤 美沙	伊佐地 将 井戸 千恵子 小木曾 加奈	林幸太・伊藤梢 土方翔太・宮田雄也 渡辺 貴史・千藤根星 堀江友香・伊藤優
6年	長谷川 愛	伊藤 祐太 西尾 幸子	西尾 亮祐 渡辺 優太	足立亮・薄田 麻帆 西尾典晃・永谷 岳彦 三浦高弘・堀江なつみ 大島春菜・千藤 風羽音 西尾 ちひろ・古山文音 光岡 麻衣・藤井佑磨

学年	金賞	銀賞	銅賞	みどり賞
中学 1年	伊藤 澄香	足立 里穂 三宅 真央	千藤 太介 西尾 太志 足立 めぐみ 長谷川 瑠衣	足立 大起 長谷川 諒 千藤 菜穂
2年	松本 美紀	畑村 滉也 鈴木 美保	杉本 和広 千藤 巧美 中垣 恵美	伊佐地 賢豊 小坂 祥生 千藤 大智 夏目 益沙 光岡 彩乃
3年	西尾 衣代	長谷川 真子 鈴木 裕介	伊藤 善史 足立 美紗	田口 洸平 西尾 友宏 西尾 渡 安江 博己

前号(2004.12)において皆さまからの意見を(アンケートで)聞く機会をつくってみました。

結果は六名の回答、

◎公民館について

一 土、日、祭日開館(月曜休館)

知っている……6

よくなった……3

二 公民館「たより」について

いつも読んでいる……6

三 85号(前号)で興味をもった紙面

寄附、寄贈に感謝

歌舞伎初体験

四 85号(前号)で読みにくかったり

改善した方がいい紙面

五 その他全般

防犯関係情報

館として独自の記事を

二階会議室を明るく

職員の対応が良い

◎地域全般について

一 東野にふさわしいキャッチフレーズ

「コシヒカリ東野」

「シクラメンの産地」

「恵那市の真ん中」

二 地域の環境について

下水道工事後の舗装不完全

水質が悪くなっている…情報を

三 振興会臨時総会に

出席した……4

委任状……2

最近のペットボトル水との付き合い

振興会監事

岡本 光美

33 x 27

我が家の台所の隅に様々なペットボトルの空容器が幾つとなく鎮座しています。小生が東野小学校に通った昭和二十年後半から三十年前半頃に「水」、「お茶」等を購入して飲むなどとは思いませんでした。まして生活様式が変化してきたとはいえ、青天の霹靂であります。図1にミネラルウォーターの生産量と輸入量の推移を示します。図1から見られますようにこの10余年あまり、ボトル水や浄水器の普及で、より安全でよりおいしい高水準の水質への要求が大きくなっていることがわかります。

私どもは安心して飲める水が供給されることを、飲料水の基本的なことであると思っていますし、また安全でおいしい水への要求でもあり、水道水質への関心も高まって来ています。しかし水源における水質汚染や汚濁の進行、未規制化学物質や病原微生物などに対する安全確保など、水とりわけ水道水質に係る課題にも注意して関心を寄せる必要があると思います。即ち、水道水源、簡易水道などの安定的な水の供給が長期的に、①誰もが安心して、おいしく飲めること、②いつでもどこでも安定的に生活用水が確保できること、③水道水源の保全から給水栓に至るまでの統合的な各種対策アプローチが講じられ水道水質が確保されること、④飲用井戸や貯水槽水道などの未規制の小規模水道を中心に水質管理の仕組みが充実されることなどです。

いっぽう、国の総人口は50年後には現在から約2700万人減少して、人口約一億人、また100年後には人口約7000万人まで減少すると予測されています。さらに高齢化が一層進展して、人口の減少率は地域によって大幅な開きが出てくると予測されています。人口の減少は、今後予想されます水道施設老朽の更新時期での費用負担を困難にさせる懸念と水供給バランスとに大きな影響がでる懸念があります。将来、私どもの子孫の負担能力低下が見込まれるなかで、高効率で低コストの更新施設の設計計画を今から切望するのは小生だけでしょうか。

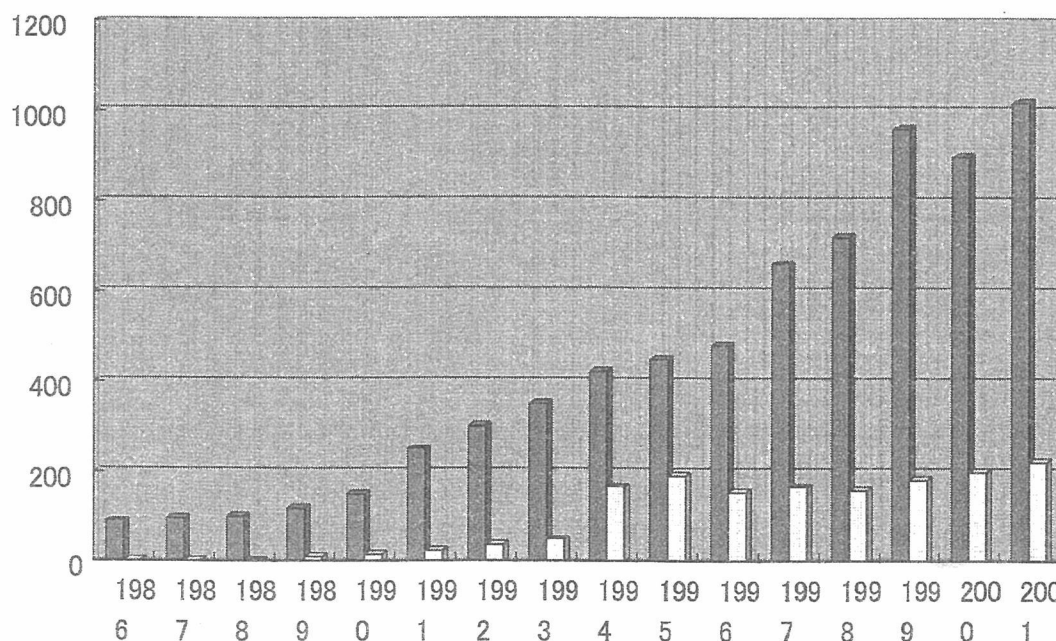


図1：ミネラルウォーターの生産量と輸入量の推移
(単位：KL)

■ 国内生産量
□ 輸入量

わたい

一 山本用水水神様の祭典

恒例の山本用水水神様の祭典が二月二七日、用水組合（篠原重遠組合長）により記念碑前とオオセギの水神様で行われた。

山本用水の歴史は古く、今から二百三十年程前明和七年（一七七〇）～一七七二の水不足により染戸方面は水田に豆や稗を植えたといわれる、それに懲りて何とか阿木川の水が使えないかと、岩村藩の許しを願ひ、（以下説明略）先に取水されている三郷用水の下流から取水する—という条件でやっと実現した。

完成は明和九年？（一七七二）といわれる。そして完成のお祝いに現在のオオセギに水神様が祀られた。

その後大正十四年（一九二五）取水口のかさ上げがおこなわれ、

昭和十六年（一九四二）用水路のコンクリート化と宮窪川、定蓮寺の水路橋の架け替え
昭和三十八年（一九六三）全線改修

長さⅡ5. 266m

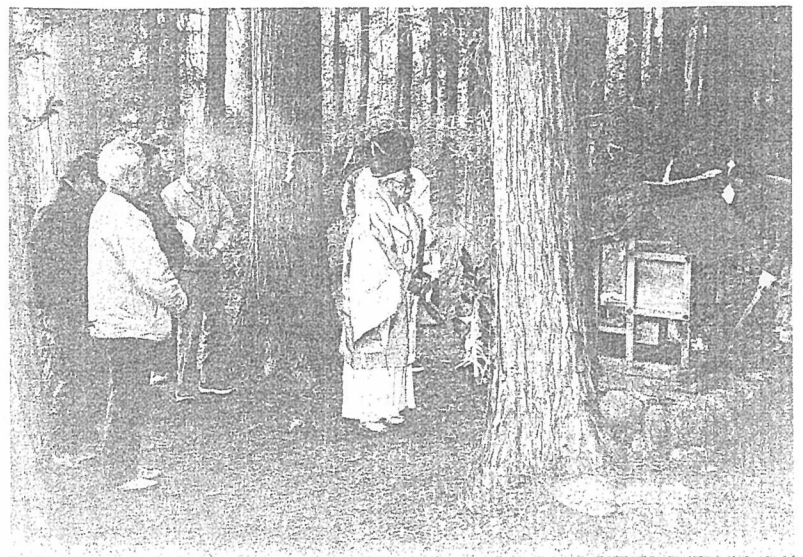
巾Ⅱ 146×152cm

深さⅡ 60×70cm

総工費Ⅱ八千四百九十九万四千円

今では阿木川ダムにより副えん堤（ダムからの排水の勢いを止めるえん堤）が造られ、三郷用水も山本用水も同じ水位から取水することとなり以前のようには利水者が出てイセギ（水位を上げるために石筵などを積み上げる）などをすることなく公平に水が流れる。

大昔の、大事業の歴史を思い出す祭典であった。



オオセギの水神

二 ホタルの里づくり

例年青少年育成会議、東雲会合同で行っている定蓮寺川の清掃が行われた。

古い葦の刈り取り、どこからか流れてきたビニール類、空缶など——

子供達もいっしょになって拾い集めました。やがて、新しい葦が生え水を浄化して、今年もたくさんの方々が舞うことを願いながらの作業でした。

三 ダム下流河川へ土砂投入実験

自然の川は時々的大雨により洪水となって川の砂を勢い良く流し、砂が石にあたり、古い石アカを流し、時には石をも動かす—この繰り返しにより川の中で石は石らしく見られた。

阿木川ダムが完成して十五年、ダムの下流は洪水の心配こそ無くなり、又水の安定放流の役割を果たすこととなったが、一方では砂が下流に流れず、水も長期の堪水状態のため石はドロに包まれた状態であり、水質は明らかにダムのない飯沼川などと全然違う川の姿である。

何とかならないものか……

今回、阿木川向島地内の二ヶ所において川に砂を流す作業が始まった、300立米×二ヶ所、

合わせて10トンダンプ一〇〇台分の量が流されることとなった。

試験的といわれるがよい結果が出、以前のような清流が戻ると良いが……



砂置場

おじやまします

ソーラー発電

足立浩一（北中切）さんの家の屋上には太陽温水器のようなものが数個並んでいる、

しかし、よく見ると何処にもある温水器より薄く、また、数もぎっしり並んでいる。

たずねてみると太陽発電（ソーラーシステム）との事です。

現在一八基が稼動しており、足立さんの家でガスは使用せず、暖房用の灯油を少し使うだけ――

との事です。まだ家全体を賄う発電量にはわずかに不足で、電力会社から供給をうけているそうです今後、数枚設置すれば、電力を電力会社から買うことなく賄えるようです、更に増設すれば電力を売る事も可能なわけです、

日本の発電量は火力発電が約五六％、原子力三、四％、水力九、六％その他〇、二％といわれる。

火力、原子力は燃料資源や建設地などで問題もあり今後は自然の太陽熱、風力を利用したエネルギーの研究開発が進められよう、

足立さん宅のようなソーラー発電も今では設備費が高くなかなか電気料金は

ペイできないが、地球環境に優しいエネルギーで快適な生活ができる楽しさがある。

恵那市内では百五十戸（中部電力の話）の家庭で太陽発電が設置されているそうです。

以外に多い数字です



鳥籠造り名人―伊藤彰秀さん

今ではあまり目にすることはないが、昭和三十年代までであろうか農家の軒下に小鳥を入れた「とりこ」（さしこーと呼んでいた）が吊られ、メジロ、ヒガラ、ヒワ、ウグイスなどが飼われていた。

昭和二十年代？鳥獣保護法により野鳥の捕獲、飼育が禁止されてしまったが、小鳥の飼育は楽しい日本人の文化であった。

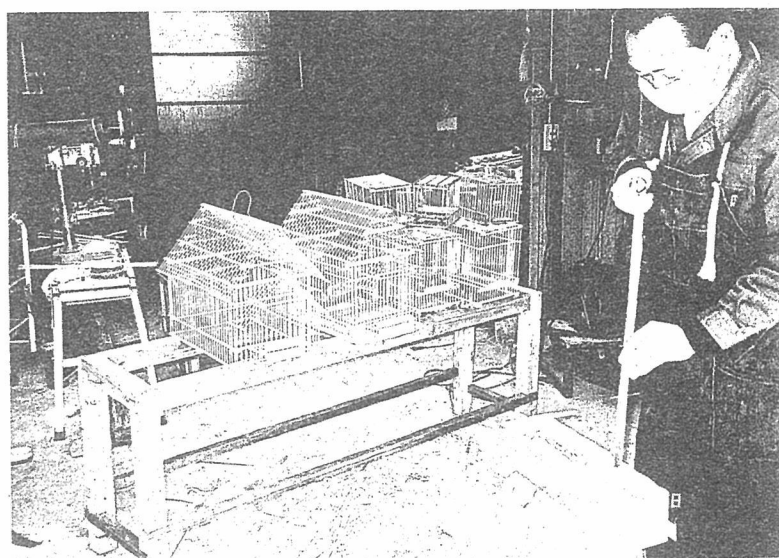
伊藤さんは仕事の合間に造りはじめ今、七個目を手がけている、最初は何処にもある長方形であったが、今では宮風などだんだん凝った見事な作品が出来上がっている。

伊藤さんは仕事の合間に造りはじめ今、七個目を手がけている、最初は何処にもある長方形であったが、今では宮風などだんだん凝った見事な作品が出来上がっている。

伊藤さんは仕事の合間に造りはじめ今、七個目を手がけている、最初は何処にもある長方形であったが、今では宮風などだんだん凝った見事な作品が出来上がっている。

伊藤さんは仕事の合間に造りはじめ今、七個目を手がけている、最初は何処にもある長方形であったが、今では宮風などだんだん凝った見事な作品が出来上がっている。

伊藤さんは仕事の合間に造りはじめ今、七個目を手がけている、最初は何処にもある長方形であったが、今では宮風などだんだん凝った見事な作品が出来上がっている。



文芸欄

（二月詠草）

サークル短歌

・同じ水を終日返し吹き上ぐる泉あり 鈴木喜一郎

・心少しつかれる

・密教の教えだという念仏を

もれ聴きており寺の庭隅

市川茂子

・庭隅にオオイヌブクリ見付けたり

外の仕事の増える前触れ

・春一番荒れて青空蠟梅の

花陽を透かし満開に咲く

赤尾袈夫

・夜どうしの雪の重みを身に纏い

植林杉の列頭わなり

・杉桧植林美林と進まされ

花咲く今が疎まれるとは

花無山句会

御祝儀と久寿湯に乗せる梅の花

集団をつくり繁殖福寿草

柘や天に口あく大鯛

蕪蒸しフツフツ熱き赤絵鉢

山かすみ雪の恵那山かがやけり

ことごと余寒煮大根田舎汁

里山に春の萌しの見え隠れ

春寒や脈打つ痛き殊の外

紅梅の一輪の香に近寄りて

春炬燵抜け出す気力まだ沸かず

山の子ら山の子らしく雪遊び

鈴木抱風子

市川茶山

市川芳子

伊藤ひろみ

伊藤靖代

千藤恵三

松本はるか

土方ちかえ

西尾美恵子

伊藤靖代

東野の歴史の詩―

長谷川多平さんが東野の史跡、遺跡を詩で綴った冊子を作られました。小学校の講師で「探険クラブ」を担当されており、その時の教材に使われたものです。

内容は神社、史跡、地名など三十二箇所由来を短い詩でわかり易くユーモラスに綴られています。その一部を転載させて戴きます。

八坂神社

うつそうと繁る 天王の森に
神代の時代に あばれたミコト
その名が スサノオノミコトです
かいしんして 出雲の国へ
八岐の大蛇 退治して
悪い病気を 追いはらい
害虫たちも にげて行く
祀つてあげたよ 八坂の宮に

広田神社

昔 むかし 三五の沢に
祀つてあつた 神様が
雨に流され 途中の岩に
乗つたところを 拾い上げ
祀りましたよ 万場の山に
仲哀天皇の 奥方の
神功皇后の 御神体
広田神社で います

貴船神社

京都は愛宕の 鞍馬の村の
貴船の山に 鎮座する
水事を司どる クラオカミノカミ
雨を降らせませす 雨も止めませす
灌漑・養蚕 靈験あり
お江戸の時代 寛文五年
迎えて里に 御利益を
願ひし染戸の 地に祀る

若宮神社

八幡様と したわれし
応神天皇の その御子が
若宮 若宮 仁徳天皇
神に親あり 子供あり
親子の霊を 守ります
若宮八幡 神社として
東野若宮地に 祀りしが
今は仲良く 貴船の社内

度会神社

松が二本 あつたげな
お伊勢の松と 誰か言ふ
当時の村長 思いつき
伊勢まで行つて 迎えしは
皇大神の 御神体
度会神社と 建てました
和泉の国から 石屋さん
御神燈建てた 泉州石工

鷲尾神社

戦いやぶれて 落ちのべて
たどりついた 東野は
住みよいこの世 ここに得た
桃井義繁の子 義重は
祖先をうやまい 神様に
鷲尾十郎 爲義を
鷲尾の神と あがめたて
鷲尾神社を 建てました

宗久寺

お江戸の時代に 岩村藩が
村の願いで 寺 建てた
造つた人が 代官 宗久で
その名を取つて 宗久寺
聖観音を おむかえて
移転すること 四度目に
現在場所に 移り来た
萬松山 宗久寺

東野の美林

天保の年の 山火事で
草ばかりの 山はだに
先覚者数人 考えて
木を植えたのが 明治十三年
金原明善も 植林説いた
植えた植えた 村山全部
ひのきに杉に 計画立てて
今では美林の 村となる

東野の開墾

お米が食べたい 田がほしい
県の役人 可知貫一さんの
話を聞いて 保古池造り
水を引いて 白坂一帯
百町歩の 田や畑
昔の苦勞が この八〇年
実る稲穂は 古田並
記念碑作つて たたえます

染戸宝篋印塔

宝篋印塔は 誰れの墓
身分の高い 人の墓
染戸の塔には 刻字があるよ
明徳癸酉歳 午時去
故宗中禅如 とよめまする
南朝方か 北朝方か
親王さまの お供かも
六〇〇年を越す 前のこと

向島阿弥陀堂

西行さんが お迎えた
阿弥陀如来の 仏様
小山にお堂建て 安置する
時代は過ぎて 五〇〇年
村人寄り合い 建てかえて
石造物に 作り上げた
御利益あると 伝わって
多数のお参居り 繁昌する

2005年度カレンダー

4月	5月	6月
月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日
1 2 3	1	1 2 3 4 5
4 5 6 7 8 9 10	2 ③ ④ ⑤ 6 7 8	6 7 8 9 10 11 12
11 12 13 14 15 16 17	9 10 11 12 13 14 15	13 14 15 16 17 18 19
18 19 20 21 22 23 24	16 17 18 19 20 21 22	20 21 22 23 24 25 26
25 26 27 28 29 30	23 24 25 26 27 28 29	27 28 29 30
29日=みどりの日	3日=憲法記念日、4日=国民の休日	
	5日=こどもの日	

東野公民館前期講座予定

詳しくは広報えなにて募集

講座名・講師	募集種類	講座内容	曜 日
心晴歌 水野 辰夫	一般	みんなで楽しみながら歌をうたいましょう。おなかから声を出して、心も体も健康に。	金曜日
Walk&Talk 健康づくり 赤尾 袈夫	一般	おしゃべりしながら健康づくり。いつもの風景も歩いてみると新たな発見があるかもしれません。	火曜日
かな書道 市川 恵一	一般	かな書道にふれてみませんか。	土曜日
クラフトテープで箸作り 渡辺 美千代	一般	クラフトテープ(紙紐)を使って、すてきな箸や小物を作ります。	火曜日
籐を編む 太田 純子	一般	籐で編むぬくもりのある箸などをあなたの手で造りませんか。	木曜日
エンジョイエアロビ 永野 佳代	一般	音楽に合わせて楽しく体を動かしましょう。	火曜日
プリザーブドフラワー 金森 由美子	一般	花の美しさを長い間楽しむことができるプリザーブドフラワーを使った、アレンジメントを楽しんでみませんか。	木曜日
郷土料理 土方 紀代子	一般	旬の素材を活かした料理をつくり、持ち帰って家族で食べましょう。	火曜日
(子)チャレンジ! もの作り体験教室 赤尾 友和	小学生	自分だけのはがきや箸を作ってみよう。夏と冬には、野外に出かけます。1年を通じいろいろな事に挑戦しよう。	日曜日
)ナンシーのおやつレッスン 永野 佳代	小中学生	和・洋・中の材料を使って、おいしいおやつを作ろう。	土曜日

お知らせ

4月1日～4月9日
長谷川三千夫さんの

作品展示

長谷川さんが昔生まれ育った記憶を織り交ぜ、草葺屋根のある風景を数多く画かれています。本人は全くの我流と謙遜されますが、いくつかの展覧会で入賞しております。

以前入院されていた病院で3ヶ月近く展示されたものを借り受け公民館で展示させていただきます。

是非ご覧下さい。

(尚、10日以後は宗久寺で計画されているようです)

乳幼児学級生 募集します!

4月より、遠足、幼稚園訪問や郷土のお菓子づくりなど、年10回活動します。

一人で悩んでいませんか? さあ、同じお母さん同士交流を深め、楽しく子育てしましょう。祖父母の方も参加できます。

詳しくは、広報えなをご覧下さい。

あとがき
○ 春は黄色の花が始まる、蠟梅、福寿草、マンサク、次いでサンシュユ、レンギョ、やがて菜の花と……
幼稚園、小学校の入園、入学式も近い、可愛い園児らの通行を見たら車はまず徐行しましょう。
○ 十二月の「たより」でアンケートをお願いしてみたが結果は六名の回答のみ、目を通すヒマがない? つまらない? いずれにしても読む情報はなかなか伝わらない。残念なこと
○ 館長、主事、一年一年が区切りであるが満三年、この「たより」づくりも多くの方々の参加により、新しさ、人間性、社会性、地域性、記録性のある冊子にしたいと思いで編集を続けていきたいと思えます。
(館長、主事)

当面の行事予定

3月	23日(水) 幼稚園終了証書授与式 24日(木) 小学校卒業証書授与式
4月	6日(水) 東野小入学式 11日(金) 幼稚園入園式 3日(日) 井ざらい 10日(日) 慰霊祭。愛林祭 24日(日) 振興会総会
5月	1日(日) 東野生森総会